

# 空知・石狩振興局、札幌建管が防災訓練 情報の伝達・共有を確認 建協が参加し実働訓練も

## 空知総合振興局、石狩振 策地方連絡本部を設置。本 興局・札幌建管は二十五 部員会議で、関係機関等か 日、合同防災訓練を実施し らの報告をもとに被災状況 た。台風による大雨災害を を把握し、対策について情 想定し、初動時の対応を確 報共有を図った。

札幌建管では、地域住民  
急対策の指示・実施に至る や道路利用者などから寄せ  
一連の情報伝達と情報の共 られた情報を集約しなが  
有に關し、訓練を展開し、各出張所に対応を指  
た。防災協定に基づく対応 示。各出張所の担当者が現  
を因るため、一般社団法人 地に出動するとともに、札  
札幌建設業協会(岩田圭剛 建協と空知建協に協力を要  
会長)と一般社団法人空知 請した。

当別出張所管内では、沼 見沢、長沼の各出張所管内  
建設業協会(中山茂会長) も参加し、重機を用いた実 川で氾濫のおそれがある状  
働訓練などに取り組んだ。 況を想定し、札幌協に急急  
各振興局では、それぞれ 対策を指示。同地区の幹事 興、(株)北創が現場をパ  
局長を本部長とする災害対 社となっている宮永建設(株) トロール。土砂災害、地すべ  
社となつている宮永建設(株) りなどが発生したとの想定  
が現地に出動 で、現地状況を協会に報  
し、バックホー 告した。

で一・五メートルの大 現地の状況は、建管にも  
型土のうち五個を 伝達され、情報を共有。こ  
設置した。事業 れらを通じ、有事における  
課と千歳出張所 的確かつ迅速な対応に向け  
でも、日米建設 て必要な取組を確認した。

札幌協の村井悟専務理事 札幌協の村井悟専務理事  
(株)と(株)玉川組が 現地パトロール は、「訓練を時系列で振り  
現地パトロール を実施。現地の 返りながら、改善すべき点  
状況を写真に収 がないかどうかを検証した  
め、作業状況と い」としている。

札幌協では、現地で大型土の の設置も実施した



札幌協では、現地で大型土の の設置も実施した

有事の対応に向け、情報  
伝達などを確認(写真は  
空知総合振興局の本部員  
会議)



有事の対応に向け、情報  
伝達などを確認(写真は  
空知総合振興局の本部員  
会議)

空知建協でも、滝川、岩

## 洪水に備え土のう積み

札幌建協 札幌建管の防災訓練に参加



札幌建設業協会(岩田  
圭剛会長)は25日、札幌  
建管の防災対応業務訓練  
に参加し、大雨による洪  
水被害を想定して石狩管  
内の3地区に出動した。

新篠津村の運河では、河  
川が氾濫する恐れがある  
との報告を受け、土のう  
積みを実施した。

札幌建管との防災協定  
に基づき防災対応訓練。  
電話で出勤要請をやりと

りする通信訓練や被害箇  
所を探し出す警戒パトロ  
ールが中心だが、2年前  
からは現地に重機を持ち  
込み実動訓練をしてい  
る。

今回も石狩振興局と空  
知総合局との合同訓練  
で、大雨と洪水、暴風、  
波浪警報が発令された

の想定で実施した。これ  
を受けて札幌建協は、物  
流倉庫が冠水した事業課  
管内とボックスカルバー  
ト内で、車両走行ができ  
なくなった千歳出張所管  
内の現場に幹事会社を急  
行させた。

実動訓練は、当別出張  
所管内にある新篠津村の  
沼川に第1幹事社の官永  
建設(本社・当別)と第  
2幹事社の新昌建設(同)  
がトラック2台と油圧シ  
ヨベル1台で出向いた。

官永建設の佐藤和夫土  
木部長が陣頭指揮を執  
り、交通誘導員と運転手、  
玉掛け者、合図者が息を  
合わせて1個当たり1・  
5mの土のう5つを護岸  
に設置。佐藤部長は「実  
際の応急復旧に駆け付け  
た経験はないが、決めた  
合図をきちんとできるか  
確認したかった」と話し  
た。

最後に同社の須戸広志  
土木部長が現場を携帯電  
話で写し、電子メールを  
札幌建協に送信して終了  
した。作業を見守った村  
井悟専務理事は「手際が  
良く20分以内に作業が終  
わった。時系列的に落ち  
度がなかったかを検証  
し、次回に生かしたい」  
と抱負を述べた。